

# 3 東京一極集中の是正

## 東京一極集中の是正

### 1 危機管理上のリスク

- 新型コロナウイルス感染症拡大に際し、東京一極集中の脆さが浮き彫りになっており、危機管理の面からもリスク分散が改めて認識された。
- また、公表されている南海トラフ巨大地震や首都直下地震などのM7クラス以上の地震の発生確率は30年以内に70～80%になっている。

### 2 成長の阻害

- 国際競争力を維持するためには、東京に機能を集中させることが必要という意見もあるが、現実には日本の成長率に対する東京の影響度はマイナスとなっている。
- 人口減少や少子高齢化が進展する中、日本が将来にわたって国際競争力を維持し、持続可能な社会を実現していくためには、多様な人材が活躍し、各地でイノベーションが起こり、付加価値と雇用を生み出していく国土を創出していく必要がある。

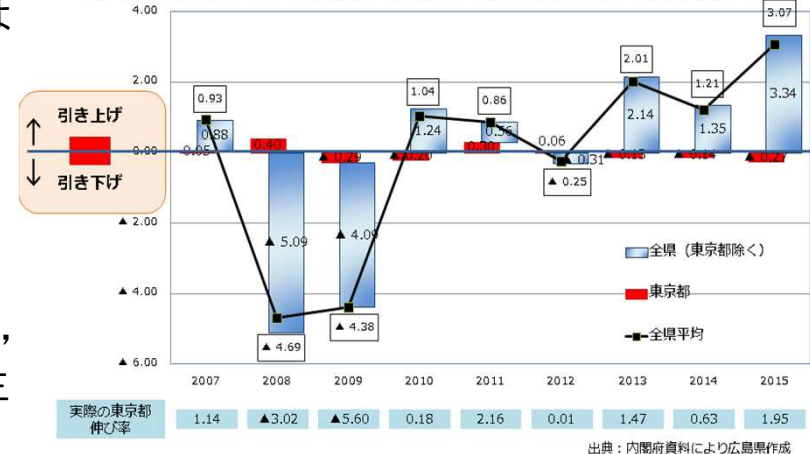
#### ■ 想定される主な大規模地震の概要



#### ■ 東京都と46道府県の成長率（短期）

全国平均の成長率に対する東京都の影響度

「全国平均の成長率」から「46道府県平均の成長率」の差を求め、その値を東京都に見立てる。



### 3 東京一極集中の是正

#### 東京一極集中の是正

##### 【現状/課題①】 危機管理上のリスク

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、政治・経済・文化・観光・スポーツなど中核施設の過度な集積による経済活動の一極集中は、他の地域を含めた国全体の経済活動にも大きな影響を及ぼすことにつながる。
- ・ 首都圏で大規模災害が発生した場合、建物被害や人的被害といった一次被害に加え、避難所等に多くの人々が集中することによる感染症クラスターなどの複合的被害が拡大する恐れがある。

##### 【現状/課題②】 成長力の限界

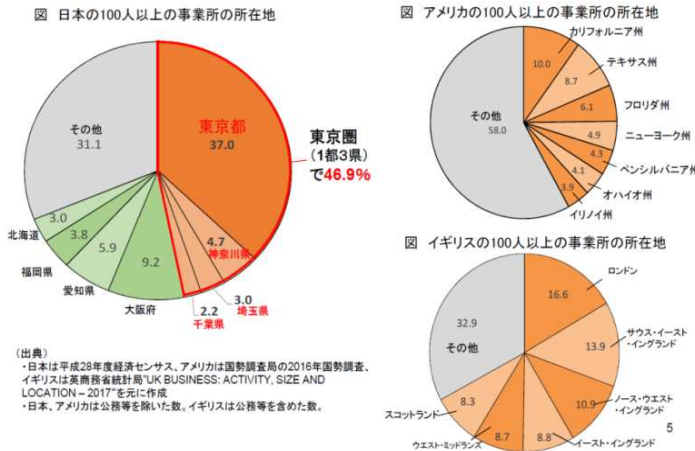
- ・ 東京都市圏のGDPは『世界1位』(2014)だが、1人当たりGDPでは119位であり、モスクワ(99位)よりも低い。
- ・ また、国内におけるGDPの成長率においても、引き下げる要因となっている。

##### 【現状/課題③】 外部不経済の拡大

- ・ 過度な集中により、一日当たりの通勤時間の増大や狭小な持ち家延べ床面積、保育所待機児童数の増加など、外部不経済を発生させている。

#### ■ 世界から見た東京一極集中

世界と比較しても、企業拠点の東京圏への集中は突出している。



#### ■ 東京都市圏の1人当たりGDP

